

曾於市立財部小学校

<p>子供の实態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 意欲的に学び合う姿がある。 ○ 「分からない」と言える子が多い。 ○ 「聴く」力が身に付いていない。 ○ 友達に頼ってしまう。
<p>【目指す学校像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して学び、全ての子どもに学力定着を図る学校 ○ 教育活動に直結した設営や植栽等が心地よい学校 ○ 規律と秩序のある生活が営まれており、笑顔で心のこもったあいさつが交わされる学校 ○ 保護者や地域に信頼され、地域とともにある学校

【学校教育目標】
 自らを律し、主体的に学び続ける子供を育てる

【目指す子供像】

- 主体的に学び合い、考える子ども
- 進んで体をきたえる子ども
- やればできる子ども
- 礼儀正しく思いやりのある子ども
- ふるさとを知り、ふるさとから学ぶ子ども

<p>社会的要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育関係法規 ・ 教育振興計画 ・ 学習指導要領 ・ 県、市学校教育の指針 ・ 保護者・地域の願い
<p>【目指す教師像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな人間性と創造性を備える教師 ○ 自己を磨き、日々向上するプロ教師 ○ 健康で明るく、互いに協力する教師 ○ 子どもや保護者、地域住民の信頼に応える教師

【研究主題】

自ら学び、共に高め合う児童の育成
 ～学習者主体の「学び合い」の活動を通して～

【共通実践事項～基礎基本定着のために】

- 財部スタンダードの実践
- 学習のきまりの徹底
- 一人一実践（授業）
- 各種分析の活用（NRT・全国学力学習状況調査・鹿児島学力学習状況調査等）

力点1 学び合う関係づくり

- 互いの話を聴き合う関係づくり
- 「分からない」が言える雰囲気づくり
- 子供みんなで解決しようとする態度の育成

力点2 確かな学力を身に付ける授業づくり

- 互いに学び合えるような「聴く」「話す」場の設定
- 学び合いを活性化させる課題設定の工夫
- 子供と子供、教材、ものなどをつなぎ、学びを深めていく方法の工夫

力点3 授業力の向上

- 学年部、年1回の公開授業の実施
- イベント的な研究授業ではなく、日常的・継続的な授業研究へ
- 参観者自身の学びにつながる研究協議（明日の授業改善へつながる授業研究をつくる）